

隈研吾氏ら各分野の巨匠が、一軒の邸宅に集結。

京都・上七軒の築 200 余年の邸宅を舞台に、建築、庭園、茶、意匠、彫刻、工芸。

日本の歴史と文化を、“邸宅”という一つの姿へ再興する世界初のプロジェクト

「THE SILENCE - Furnished by ARMANI/CASA」 日本の伝統文化・芸術文化を牽引する、世界に誇る「彩の匠」を発表

土地と住空間に革新的な価値をもたらす「コンセプトブランディングデベロッパー」の株式会社フィード（東京都港区 / 代表取締役 中村建治、以下フィード）は、日本に宿る本質的な価値を“邸宅”として 100 年後の世界へと紡ぐ「THE TIMELESS CONDOMINIUM」プロジェクトを推進しています。今回は、その第一弾として手がける、京都・上七軒に佇む築 200 余年のお茶屋「旧長谷川邸」を舞台にした邸宅「THE SILENCE - Furnished by ARMANI/CASA」において、建築・茶室施工・作庭などを担う「礎（いしずえ）の匠」に続き、意匠・彫刻・工芸・マインドフルネスなどを担う「彩（あやどり）の匠」を発表いたします。



■京文化発祥の地・上七軒のお茶屋を舞台に誕生する「歴史を継ぐ唯一無二の邸宅」

本プロジェクトの舞台となる「旧長谷川邸」は、日本最古の花街・上七軒の中心に佇み、200 年以上にわたって時を重ねてきた由緒あるお茶屋です。京都特有の奥へと伸びる“鰻の寝床”と言われる構造や、数寄屋造りならではの繊細な意匠、そしてお茶屋らしい遊び心。その一室一室に、人々の営みと美意識の蓄積が息づいています。私たちは、この歴史的建築物をただ保存するものではありません。建築、庭園、茶、意匠、彫刻、工芸など各分野の巨匠たちが、その技と感性で丁寧に読み解き、現代に再興する。過去・現在・未来が一続きとなる唯一無二の邸宅として、100 年先の世界へ手渡すことが、本プロジェクトの意義です。

■日本が誇る“美の巨匠”が集結 伝統と芸術が融合し、邸宅を唯一無二の総合芸術へ

日本の宝である歴史、伝統文化、美意識などを世界に向けて発信し、未来へ継承する“文化資産としての邸宅”を創出するため、建築全般を担う「礎の匠」として、デザインスーパーバイザーに世界的建築家・隈研吾氏、堂宮大工の「金剛組」、茶室施工の「中村外二工務店」、作庭の「御庭植治」が参画。家具・アクセサリは ARMANI/CASA が担います。

この礎の匠によって本邸宅の基盤が築かれたのち、唯一無二の“総合芸術”へと昇華させるのが、この度新たに発表する「彩の匠」です。「礎の匠」と「彩の匠」、全ての匠たちの類い稀な技と心によって、建築、庭園、茶、意匠、彫刻、工芸が一体となり、歴史と文化は“邸宅”という姿で一つに結ばれます。私たちは、本プロジェクトのもとに集結した最高峰の匠とともに、旧長谷川邸を世界屈指の“文化資産としての邸宅”として、未来へ遺してまいります。

■ 次の人間国宝とも目される大仏師・江里康慧氏による 彫刻尊像「伎芸天」創出

邸宅の顔となるエントランスを飾る、世界でただ一つの彫刻尊像「伎芸天」を、京都・三千院から大仏師の称号を授与された江里康慧氏が創出します。「伎芸天」とは芸能・芸術を司る神であり、芸事文化が花開いた北野・上七軒の地にふさわしい象徴です。また、三十三間堂に連なる仏師の系譜を受け継いだ匠が、一邸宅のためだけに祈りの造形を手がけることは世界初であり、この稀少な取り組みから生まれる尊像は邸宅の護り神となって、住まう方に安寧をもたらします。



■ 截金師・江里朋子氏による 彫刻尊像「伎芸天」の 優美繊細な截金装飾

大仏師・江里康慧氏を父に、截金の分野で女性として日本初の人間国宝となった故 江里佐代子氏を母に持つ朋子氏が、父・康慧氏と二者一対となって、彫刻尊像「伎芸天」を安置する厨子の背面や扉の内側に截金細工を施します。截金は、仏教とともに日本へ伝わり、飛鳥時代より仏像や仏画を荘厳してきた 1000 年以上の歴史を持つ伝統技法で、極限まで薄く延ばした金・銀・プラチナの箔を細く切り、貼り重ねながら文様を描いていきます。天賦の才能と独自の作風で、伝統の中にも現代的な輝きをちりばめる同氏の卓越した技巧は、「伎芸天」の神々しい存在感を引き立てます。



■ ラストサムライ・土方歳三の愛刀を生んだ刀鍛冶が鍛造した 「和泉守兼定」

大広間一間半の床の間には、日本のラストサムライ・土方歳三の愛刀を手がけた刀鍛冶が同じ時代に鍛刀したという「和泉守兼定（いずみのかみかねさだ）」がオブジェとして据えられます。激動のさなかに生まれながら、実戦では一度も使われることなく受け継がれた極めて貴重な一振といわれており、芸術品としても非常に高い価値を有しています。上七軒に伝わる、土方歳三と舞妓・君鶴の恋物語を 150 年の時を超えて語り継ぐ、神聖な存在です。



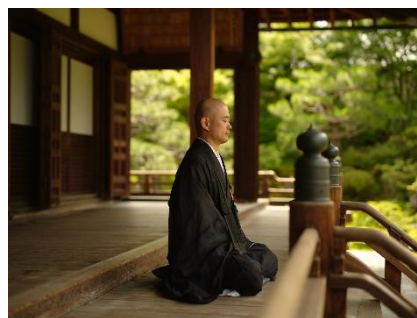
■ 「箔の魔術師」として世界に名を馳せる伝統工芸士・裕人礫翔氏による アートディレクション

上七軒に伝わる、土方歳三との物語に登場する舞妓・君鶴の可憐なイメージを再現した特別な屏風を制作するなど、邸宅に華を添え芸術的価値を高めるアートディレクションを担うのは、「箔の魔術師」として世界に名を馳せる箔工芸作家・伝統工芸士の裕人礫翔氏です。日本の伝統美と現代アートを融合させ、邸宅の空間全体を唯一無二の作品へと昇華させます。



■ 「世界が尊敬する日本人 100 人」に選出された禅の伝道師・伊藤東凌氏による マインドフルネスプロデュース

邸宅に住まう人と空間を高次元の絆で繋ぐのは、建仁寺派両足院副住職・伊藤東凌氏です。禅の精神をアメリカ・Meta 社をはじめとする国内外の企業やエグゼクティブへコーチングを展開するなど、15 万人以上に感銘を与えた思想をもとに「時」と「五感」を司る特別なプログラムを監修します。この邸宅空間で同氏が司る「気配」は、箔工芸作家の裕人礫翔氏が創り出す「陰翳」と響き合い、しつらえとの間合いや空気、色彩、質感に至るまでを、静謐に研ぎ澄まします。



■ 「THE SILENCE - Furnished by ARMANI/CASA」における「彩の匠」

〈尊像創出〉

江里康慧氏

1943 年、仏師・江里宗平氏の長男として京都府で生まれる。1989 年、京都・三千院から大仏師号を賜り、2003 年、京都府文化功労賞、2007 年、仏教伝道文化賞を受賞。著書に『仏師という生き方』『仏師から見た日本仏像史』など。康慧氏が造る仏像は、見る人を優しく包みこむ、穏やかで調和の取れた美しい表情が特徴とされる。

〈尊像装飾〉

江里朋子氏

1972 年、大仏師・江里康慧氏と、截金師・江里佐代子氏の長女として、京都府で生まれる。京都芸術短期大学（現：京都造形大学）卒業後、母の佐代子氏に師事。作品は仏具をはじめ、茶道具、飾宮、額装の現代アートまで多岐にわたる。2011 年、第 58 回日本伝統工芸展で日本工芸会新人賞、2013 年、第 48 回西部伝統工芸展で九州朝日放送賞などを受賞。

〈日本刀〉

和泉守兼定

日本のラストサムライ・新撰組 土方歳三の愛刀を手がけた名工が、同じ時代に鍛刀したという名刀。実戦では一度も使われることなく、最上級の保存状態で現代に受け継がれてきたとされる極めて貴重な一振であり、端麗な芸術品としても非常に高い価値を有する。

〈アートディレクター〉

裕人礫翔氏

1962 年、京都府・西陣で生まれる。京都市伝統産業技術功労者の号を持つ父・西山治作氏に師事し、西陣織の箔工芸技術を学び独自の技法を確立。国宝「風神雷神図屏風」の高精細複製を手がけた実績を持つ。伝統の継承にとどまらず、国内外のデザイナーとの共同制作や世界各地での作品発表、文化財の修復、インテリア装飾など幅広いアート活動を展開している。

〈マインドフルネススーパーバイザー〉

伊藤東凌氏

1980 年、京都府・祇園で生まれる。建仁寺派両足院副住職。専門道場での修行を経て、同院で 15 年以上にわたり坐禅指導を担当。現代のテクノロジーや芸術と禅を組み合わせ、国内外企業へのマインドフルネスプログラムの提供や、禅を暮らしに取り入れるアプリの開発など、伝統の枠にとらわれない試みを続けながら世界各国で思想を伝える。

■「THE TIMELESS CONDOMINIUM」プロジェクトについて

「THE TIMELESS CONDOMINIUM」は、「日本」に宿る本質的な価値を、“邸宅”として 100 年後の「世界」へと紡ぎ、日本の“美”を、世界を照らす“光”へと昇華させるプロジェクトです。地域に根ざした文化や歴史を宿す稀少な建築物を、現代から次代へと継承する“最高峰の物語”として、時空を超えた存在に極めゆくことを目指します。

〈「THE SILENCE - Furnished by ARMANI/CASA」参画者〉

- ・隈研吾氏（デザインスーパーバイザー）
- ・金剛組（宮宮大工）
- ・中村外二工務店（茶室施工）
- ・御庭植治（作庭）
- ・アルマーニ/カーザ（家具/アクセサリー）
- ・江里康慧氏（大仏師）
- ・江里朋子氏（截金師）
- ・裕人礫翔氏（箔工芸作家・伝統工芸士）
- ・伊藤東凌氏（禅僧・マインドフルネススーパーバイザー）
- ・和泉守兼定（日本刀）

■株式会社フィードについて

2007 年に美容分野に従事した会社として設立し、2011 年の東日本大震災を契機に不動産事業へ業態転換。首都圏のシングル層に向けた実需用コンパクトマンションの需要を開拓した後、「コンセプトブランディングデベロッパー」という言葉を標榜し、世界的ブランドとの連携によるマンション開発を次々と実現。10 年間で累計 2000 戸を超える分譲マンションを販売した実績を持ち、日本市場における「ブランデッドレジデンス」の先駆的企業として日々邁進している。

■エグゼクティブ・プロデューサー 中村建治について

1972 年生まれ、京都府出身。数々の BtoC 営業でトップセールスの座を獲得し、2007 年に株式会社フィードを設立、代表取締役役に就任。「既存マーケットの内側で勝負するのではなく、自らの努力と創造力で新たな需要・新たなマーケットを切り拓く」というビジネス持論のもと、不動産業界において前例のない発想でさまざまな挑戦を続けている。「THE TIMELESS CONDOMINIUM」プロジェクトでは、世界最高峰の匠とともに、100 年後の世界へ受け継がれる文化資産の創出を目指す。著書『営業道 人間力を磨き、自らの市場価値を高める極意』（幻冬舎刊）は、ビジネス書として異例のセールスを記録。

